

バイタルチェーンブロックの点検要領

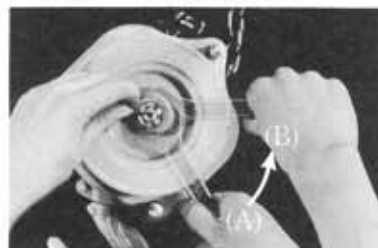
チェーンブロックを永く、安全に使うための点検ヶ所と、点検基準は下表のとおりです。

区分	点検ヶ所	点検基準	該当部品番号	時期	
				定期	収納時
フック	1.上・下フック口の開き	○安全金具がはずれる程伸びていないこと	Z701,709,740	○	○
	2.フックのキズ	○フックの内側、首などにキズ、マモーがないこと	上・下Z701	○	○
	3.上天井・下天井	○フックとの結合孔とか、フックピンの貫通孔が拡大して、ガタガタになっていないこと。	Z702,704	○	○
チェーン	1.各リンクのマモー・変形	○リンクの内側にマモーキズがないこと	Z820	○	○
	2.各リンクのピッチ	○標準寸法より伸びていないこと	Z820	○	○
	3.各リンクのサビ・キズ	○ひどい赤サビやキズがないこと	Z820	○	○
	4.エンドアンカー	○曲がったり、はずれていないこと	Z717A・B	○	○
機能	1.巻上げ巻下げ	○巻上げ、巻下げが異常に重くないこと ○巻上げて手をはなすと急降しないこと ○巻下げるとき荷が急降しないこと		○	○
	2.制動	○ズルズル滑りおちないこと			
ブレーキ部	1.ブレーキ板のマモー	○厚さ均一で、2ミリ以下でないこと	Z302A・B	○	
	2.ブレーキ板ウケのマモー	○マサツ面のキズ、よごれの固着がないこと	Z301	○	
	3.ツメグルマのマモー	○マモー変形のないこと	Z303	○	
	4.ツメ機能の円滑性	○ツメのマモー、焼付き、がたつきがないこと	Z304,305,306	○	
巻上げ機構	1.ロードシープの変形、キズ	○ツメ、ボスのマモー、よごれの固着がないこと	Z203	○	
	2.ギヤのマモー、キズ	○各歯に段がついたり、変形がないこと	Z206,207,208,209	○	
	3.ハンドホイルのマモー、変形	○よごれの固着、ツメ、ブレーキ面、ネジに変形がないこと ○回してみても異常な振れがないこと	Z202	○	
フレーム	1.各部のナット	○各部のナットが完全にしまっていること	本体6ヶ,下フック1ヶ	○	○
	2.カバーの変形	○各種カバーに変形がないこと	Z108,105,106	○	
	3.ステーボルトのゆるみ	○ゆるみ、曲り、ネジのいたみがないこと	Z103	○	
	4.ローラーガイドの変形	○よく回り、変形がないこと	Z109	○	
	5.ケリーのワレ	○ひびワレ、マモーがないこと	Z110	○	

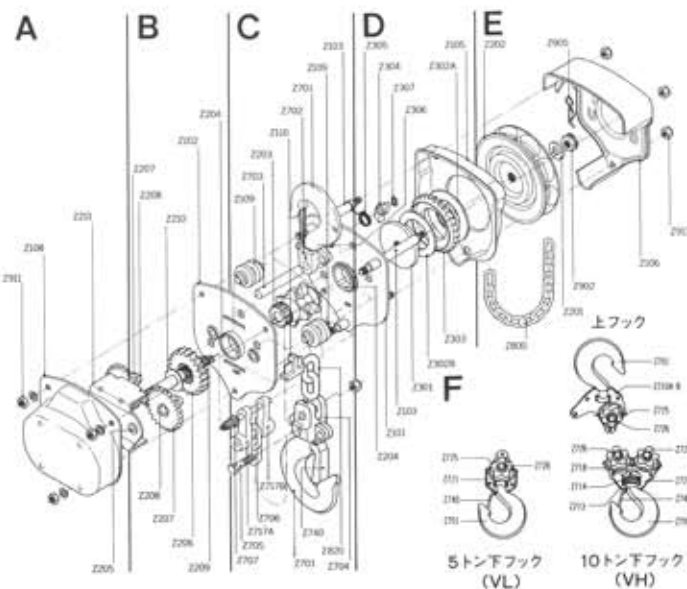
●チェーンブロック点検記録表(参考例)をお作り下さい。

管理番号		点検ヶ所		補修ヶ所(備考)
容量 t		定期	収納時	
使用開始年月日	・ ・			
点検年月日	・ ・			

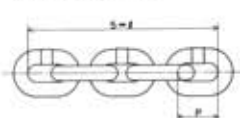
●ブレーキ調整の仕方



(A) 最後まで締めつけた状態
(B) Aの状態から、すこしゆるめてから、調整バネを入れてください。



●ロードチェン



積量 (トン)	線径 φ (mm)	5リンクのピッチの和 正規寸法mm
1/2	5.0	75.0±1.0
1	6.3	95.5±1.0
1 1/2	7.1	106.0±1.0
2	8.0	120.0±1.0
2 1/2, 5, 7 1/2, 10	9.0	136.0±1.0

(マモーのひどいのは取替えて下さい)

●フック



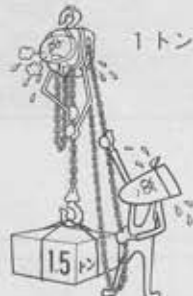
安全金具がはずれる程伸びたものはオーバ荷重で危険です。取替えて下さい。

手動式チェンブロックの8つの安全厳守事項

チェンブロックは他の工具と異なり、重量物を扱う関係上、安全対策をおこたると品物の破損とか、生命をなくする危険があります。

私達は現在の水準で出来る限りの品質チェックはしていますが、使用、保管の間に何らかの衝撃が加わって傷が生じているかもしれません。上げ降し、横引等の作業をされる場合、万が一のことを考えて慎重にお使い下さい。

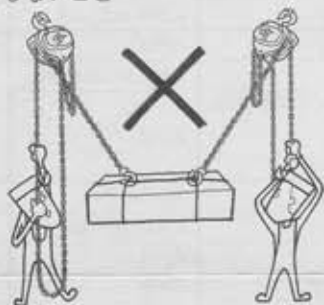
1. 定格以上の荷重をかけないこと



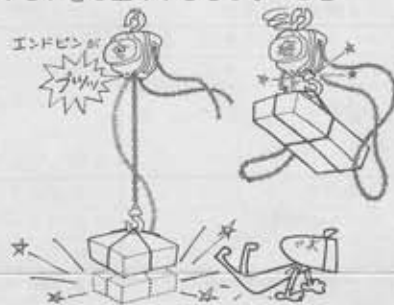
2. 荷物の直下、には絶対立入らないこと



3. 2丁つりはしないこと



4. 巻き下げすぎ、巻き上げすぎをしないこと



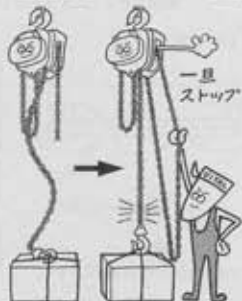
5. チェンがねじれたりキンクしたままで使用しないこと



6. 横引き、ショック引きなど、チェンに瞬間的に力がかかるようなことはしないこと



7. ロードチェンがピンと張ったところで一旦停止、次に10cm程揚げ降をしてブレーキの点検をすること



8. 吊ったままで本体をぐるぐる機械的にまわさないこと



使用前 ロードチェンに油をぬること。そして傷やマモータ跡がついてないことを確かめること。

使い方 ハンドチェンをホイールカバーのU方向に引くと上り、D方向はさがる、最初2〜3回荷を少しだけ巻上げ、巻下げてブレーキの調子を確認してから作業にかかること。巻き上げる時はブレーキのツメがカチカチと音をたて、巻き下げる時は音がしないのが正常です。

使用后 泥や水気をとって、ロードチェンに油をぬってサビないようにしておくこと。(裏面参照)